



ライブラリー情報

松前町
ふるさとライブラリー
☎985-4140

今月の休館日 30日(本の整理日)



新刊案内

必要なものがスグに！とり出せる整理術！	池田暁子	著
L特急たざわ殺人事件	西村京太郎	著
地の日天の海 上・下	内田康夫	著
時が滲む朝	楊逸	著
きみとぼくが壊した世界	西尾維新	著
おつまみ横丁	編集工房桃庵	編
明日もまた生きていこう	横山友美佳	著
切羽へ	井上荒野	著

●おはなしかい●

日時 9月27日(土) 11時
場所 文化センター2階 第2研修室

絵本やかみしばい、パネルシアターなどを使って
毎回楽しいおはなしをします。
皆さん、ぜひ来てみてください。

松前町内の街頭犯罪等発生状況 (7月中)

種別	発生	累計	前年(±)
侵入盗	18件	48件	24件(+24)
自動車盗	1件	2件	1件(+1)
オートバイ盗	6件	13件	5件(+8)
自転車盗	29件	60件	28件(+32)
車上ねらい	11件	21件	32件(-11)

安全は一人ひとりの意識から
安心は人のつながり地域から

伊予地区防犯協会・伊予警察署

大きな秋、みつけた!!



1枚 300円

1等: 1億5,000万円/前後賞各2,500万円
2等: 1,000万円 3等: 100万円

売り切れしたい発売終了

発売期間: 9月29日(月)~10月17日(金)
抽せん日: 10月22日(水)
当せん金支払い開始日: 10月27日(月)

財団法人全国市町村振興協会

この宝くじの収益金は市町村の明るいまちづくりや環境対策、高齢化対策など地域住民の福祉向上のために使われます。

ふるさとをたずねて

瀧姫信仰と行商

文化財保護審議会委員

藤岡 香市

この町の瀧姫伝説には暖味なところもあるが、要するに京の公家の息女が何かの事情で落ちることとなり、3人の侍女と海を渡る途中難破し松前の浜に漂着、そこで魚の行商をしながら生涯を全うしたという話である。

高貴の女性の女性が、親しく濱の者と交わり自活の道を選んだことに、松前の人々はいたく尊崇の念をいだき、彼女らの死後にはみんな厚く葬ったのが瀧姫信仰のはじまりらしい。今の東古泉にある四ツ黒大権現は、瀧姫ら4人の塚を1か所に合葬したものであり、筒井の義農神社にある瀧姫堂には瀧姫の位牌が安置され、松前港の天保山には漁業と行商の神として瀧姫神社が祀られている。

松前の女性が魚を売り歩いたおたさんの語源には諸説あるが、魚の行商をしたという「お瀧姫」が転じて「おた」と呼ばれ、おたが行商の元祖になったとも言われている。さらに、後年、このおたさんたちは、松前城主だった加藤嘉明公が松山城を築く折、頭上に石材などを乗せて運んだ功により、藩内行商の特権を与えられ、藩政時代から大いに繁栄し、販路も松山の城下はもとより近在各地に及んだという。

おたさんの近郷行商に対し、より遠隔地の行商として砥部焼の販売を一手に引き受けていた「からつ船」に引き受けていた味などを缶詰に詰めて遠くは樺太や満州にまで「かんづめ行商」というかんづめ行商が行ったという。

それを受け継ぐこの町の衆知たという、いわば松前の行商発祥の浜に、今や巨匠最大手となっている東レの愛媛工場が誘致され、このあたりは「行商の町」から「東レの町」へと変貌を遂げた。さらに今春オープンした「エミフルMASAOKI」は、地域に数多くの便益をもたらすとともに、新しいファッションとカルチャーの発信塔として、この町のもう1つの顔になるうとしている。



▲行商の拠点となった松前港にある瀧姫神社